



吉田さん近影★

## ～理事の紹介～

吉田直隆(よしだ なおたか)さん 「事務局長」

毎度お騒がせの事務局をお預りしております吉田です。

今は昔の2002年秋、お調子者の私は「じゃ事務局やりましょう」と、いとも簡単に引き受けてしまったのでした。NPO法人というのは、タテマエは皆でお金を出し合って全地球人のために働こうという、何ともオメデタイ人々の集まりなんです(設立認証申請の時に説教されました)。

嬉しいことに、そんな活動に理解や興味を示し、趣旨に賛同する仲間が増えまして、おかげさまで今や80人の所帯です。

わが会は何を目指すのか?もちろんいろんなことをやりたい。いくつもの企画案件があります。これからは、それを皆さんに解りやすくお伝えし、お力添えをいただき、遂行していかなければなりません。「この会に入って勉強できて良かった」と思われる会に。今のところ、わが社の非営利活動に強力なパトロンはおりません。ですから、自分らの意志—これをやれば世界が良くなる!—を貫くためには自ら活動資金を稼ぎ出す商売から!!。NPO法人として基本的には儲けることを考えて活動をせにゃダメです。儲けて遅く育って、より公益性の高い活動を目指しましょう。

## ～最近の動き～

### 1) 第3回上サロベツ自然再生協議会開催

去る11月1日、北海道豊富町町民センターにおいて、第3回上サロベツ自然再生協議会が開催され、本会からは小泉理事長が協議会会員として、また井本、増澤の両副理事長がオブザーバーとして出席しました。

その他の出席者は個人が18名、関係行政機関9機関(環境省、国交省、豊富町他)NPO等の団体が11団体ほかの総43名のからなる大会議となりました。

議題の中心は前回の協議会で事務局案として出された「上サロベツ自然再生全体構想」の素案を元にこれまでワーキンググループ等で討議修正された修正案に対し、大筋での承認と幾つかの提案、修正が議論されました。

本会の小泉理事長からは現地視察をふまえて「地域づくりに係る目標」のひとつに雄大かつ貴重な自然環境をより多くの人に理解し、自然とのふれあいを体験してもらうために自然観察やエコツーリズムのリーダーの育成が非常に大切であるとのコメントを提起しました。

本協議会後は協議会の作業部会である「再生技術部会」の初会合が行われ、部会長に北大農学部部の井上京氏が選出されました。本会ではこの「再生技術部会」のほか「再生普及部会」にも参画しています。

今後も積極的に協議会活動に関わり、地生態学やGISの技術を生かしてよりよい自然再生事業を目指して行きたいと考えています。(文責:増澤)

「上サロベツ自然再生協議会」については豊富町HP <http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/>あるいは環境省サロベツ自然再生事業のHP <http://www.env.gr.jp/sarobetsu/>を参考にご覧下さい。

### 2) 第三次環境基本計画策定に向けた意見交換会

平成17年9月7日(水)に中央環境審議会総合政策部会の委員への提案の説明と質疑応答という形で行われました。当日は、私たちは、地方自治体や国立・国定公園・自然公園等において、地域づくりに資するためのGISを用いた「環境ベースマップ」の作成と継続的モニタリングの実施を、都道府県単位で実施する仕組みづくりを提案しました。(事務局)

## ～パタゴニアに行ってきました～

理事 辻村千尋

今年の7月下旬から、8月下旬にかけて、当会理事の青木さんとパタゴニアに行ってきました。今回の主たる目的は、氷河の調査でしたが、私は、氷河末端に点在する小規模な池に、両生類が生息しているものと、いないものがあるのは何故かというテーマで参加してきました。

単純に水質だけという感じはなく、また餌環境の違いというわけでもなく、なかなか手ごわそうなテーマです。少なくとも、池の成因には、複数のプロセスが考えられ、このプロセスの違いが、大きく関係しているように思われます。もちろん、水質や、周辺の植生、昆虫相などの餌環境、地形条件など、総合的に勘案する必要があります。

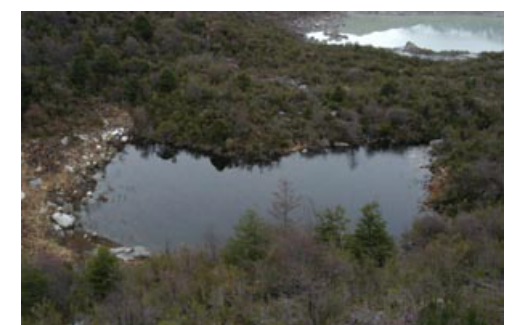
これは、当会の学術的バックボーンたる地生態学的視点が重要な調査であると認識しています。一念発起して、40の手習いではありませんが、大学院に参加していますので、修士論文にできればと考えています。

氷河の末端に新しく環境が創造され、その環境に、徐々に生物が展開していく。。なんとロマンがある話ではないですか。

今年は12月にもう一度、調査に行ってきます。いずれ皆様方に、詳細な報告ができればと考えています。



南米チリパタゴニアのエクスブラドール氷河



氷河の末端にある池

### ★サポート会員制度を導入しました(東京都の認証申請中)

会員MLでもご案内いたしておりますとおり、去る8月の期末通常総会において「一般会員」を「サポート会員」と名称変更し、定款における定義を、

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 賛助会員 この法人の目的に賛同し賛助するために入会した個人及び団体
- (3) サポート会員 この法人の目的に賛同し資金面でサポートするために入会した個人

と改めることを決議し、東京都に対し、定款変更の認証を申請中です。

会員種別ごとの権限等は次のようになります。

1) 会費等	正会員	サポート	賛助	2) 参加権限等	正会員	サポート	賛助	
年会費	¥3000	¥2000	一口1万円	議決権	○	×	×	(注1)
入会金	¥2000	なし	¥5000	運営権	○	×	×	(注2)
会員割引	○	○	○(会主催講習会等)	事業参画	○	×	○	(注3)
				ML登録	○	○	○	

(注1): 期末通常総会および臨時総会での議決権です。

(注2): 総会開催要求権や議案提出権です(定款第5章参照)。

(注3): 理事会で実施を決定した事業への参加・協力をお願いいたします。

「一般会員」改め「サポート会員」とした目的は、「正会員」に対する「一般」という言い方の曖昧さを改めたかったことです。また、会の目的等には賛同するが「具体的活動への参加は難しいので、会の活動を資金面で支えてやろう」という方々にも、広くまた気軽に会員(サポート)となっただけで、ということですので。一般会員としてご入会の方で、今後は積極的に会の活動にアプローチしたい考えの方、もしくは既に幾つかの事業に関わってくださった方は、この機会に、是非正会員になっていただきたいと考えております。(事務局)

### ～編集後記～

季刊のつもりが、思いっきり滞ってしまいました。もうしわけありません。今後はもう少し頻繁に発行しようと思っています。(辻村)

編集・発行 NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局  
〒198-0052 青梅市長瀬 7丁目372の2-710(吉田方)  
TEL 0428-24-5120 FAX 0428-20-1128  
URL: <http://www.boreas.dti.ne.jp/~kent/gcn/>  
吉田: QYZ00015@nifty.com  
辻村: chihiro-t sujimura@nifty.com

